

国内最大級の PET ボトルリサイクル樹脂製造会社「協栄 J&T 環境」 にセブン&アイ・ホールディングスが資本参加

JFE エンジニアリング株式会社（社長：大下 元、本社：東京都千代田区）のグループ会社である J&T 環境株式会社（社長：露口 哲男、本社：神奈川県横浜市、以下 J&T 環境）と、協栄産業株式会社（社長：古澤 栄一、本社：栃木県小山市、以下協栄産業）ならびに株式会社セブン&アイ・ホールディングス（社長：井阪 隆一、本社：東京都千代田区、以下セブン&アイ）の 3 社はこのたび、国内最大級の PET ボトルリサイクル樹脂製造合併会社「協栄 J&T 環境株式会社（以下協栄 J&T 環境）」^{※1}に、セブン&アイが資本参加することで合意しました。

今回の資本参加により、協栄 J&T 環境は、セブン&アイが店頭に設置したペットボトル回収機で集めた廃 PET ボトルを、原料として安定的に受け入れることが可能となります。また、セブン&アイは、プラスチックの海洋汚染問題や使い捨てプラスチックに対する法改正が進む中、PET ボトルの再生工場に出資することで、プラスチックのリサイクルシステムを強化することができます。

セブン&アイの資本参加により、3 社のこれまでの PET リサイクルの実績や保有技術^{※2}を最大限活用し、本事業分野における先進的な活動を推進します。今後も 3 社はサーキュラー・エコノミーの実現および CO2 排出量の削減や天然資源の使用量抑制に貢献し、持続可能な社会作りに役立てるよう努めてまいります。

【西日本 PET ボトル MR センター 完成予想 CG】



※1 <https://www.jfe-eng.co.jp/news/2020/20200507.html> 参照

※2 【3 社の PET リサイクル技術・取り組み内容】の表参照

【協栄 J&T 環境 概要】

商 号	協栄 J&T 環境株式会社
工 場 名 称	西日本 PET ボトル MR センター
所 在 地	三重県津市（JFE エンジニアリング津製作所内）
設 立	2020 年 4 月
稼 働 予 定	2021 年 冬
事 業 内 容	使用済み PET ボトルを原料とし、フレークやペレットを製造 （年間 5 万トン）

【3 社の PET リサイクル技術・取り組み内容】

J&T 環境	1997 年の容器包装リサイクル法一部施行以来、PET ボトルリサイクルに取り組み、近年は協栄産業へ高品質のボトル to ボトル※ ³ 原料を供給。その他のプラスチックについても、元の製品に戻す水平リサイクルやマテリアルリサイクルに積極的に取り組む。
協栄産業	日本で初めてメカニカルリサイクル※ ⁴ によるボトル to ボトル技術確立。世界初の 100%リサイクル原料による再生 PET ボトル化を実現した業界トップの実績をもつ。現在、大手飲料ボトルや繊維メーカーを中心に国内で年間約 10 万トンのリサイクル PET 樹脂を供給しており、本合併会社の稼働により約 15 万トンを供給できるようになる予定。
セブン&アイ	店頭に設置したペットボトル回収機にお客様がお持ちいただいた廃 PET ボトルを長年にわたり協栄産業へ供給。また、プライベートブランド「セブンプレミアム」の肌着やオリジナル商品の容器における包材の一部としてリサイクル PET 樹脂を使用。

※³ 使用済み PET ボトルを原料として PET ボトルを再生すること。

※⁴ マテリアルリサイクル（使用済みの製品を粉砕・洗浄などの処理をして、新たな製品の原料とすること）で得られた再生樹脂を、さらに高温、減圧下で一定時間の処理を行い、再生材中の不純物を除去する方法。